RTC Builder - 整備 #895

[1.0.0版検証] コンフィグ設定画面

2009/08/21 14:36 - 匿名ユーザー

ステータス:	終了	**開始日:**	2009/08/21
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	ta	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:			

説明

0.4.2の頃は、必須入力項目は一つの枠にあったようですが、1.0.0では、「Detail」枠と分けられていますが、
何か理由があるのでしょうか？

0.4.2は必須項目がまとまっていたので分かりやすかったのですが、1.0.0で、例えば「変数名」が切り離されて
しまい、入力を忘れがちになります。結果複数のコンフィグパラメータで同一デフォルト名が使われ、makeエラー。

Documentationは任意と思うので、分かれていても良いと思えますが、「Detail」という枠の名前で分割していると、
基本的必須事項は上の枠で、ここは必要あれば詳細情報を”任意”で良いとユーザは感じてしまうのではないでしょうか？

もしくは、このままの画面構成であれば、「変数名」のデフォルト値は、「パラメータ名」を引っ張ってくるのはどうでしょう？

履歴

#1 - 2009/11/07 02:15 - ta

- ステータス を 新規 から 担当 に変更

- 担当者 を ta にセット

- 進捗率 を 0 から 80 に変更

#2 - 2009/11/17 14:33 - ta

- ステータス を 担当 から 解決 に変更

- 進捗率 を 80 から 100 に変更

#3 - 2010/01/13 00:00 - n-ando

- ステータス を 解決 から 終了 に変更